

発行所
大阪市阿倍野区
阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者 小山修平
発行責任者 伊井治夫

食・飲物は
み

のわ
校内食堂

一八五万円のゆくえ？

各クラブ不満多し

とうとうクラブの予算も決定されてしまった。後は、鳴いてもわらっても、これだけでやらねばならない。もらえないよりは、まだだと思つて、がんばって、もらいたいものだ。

四十年年度自治会のクラブ予算は、研、新聞、音楽の各クラブ。反対
すべで決定された。総額百八
十五万六千六百四十四円。今
昨年に比べてあまりしないク
ラブが、少なく、割にスミーズに
大幅に減少している。また運動関
心のあるクラブは、下表にのつてい
るが、紙面の都合上簡了承下
せんが、

なお、現在予算案については、激しく各クラブが抗議している。議会において予算案について審議しているが、相当に難航をえているが、執行部が頭を痛めているところである。今年は、割に速に決定されたのかのように見えるのだが、こんなに、難航することは、少し意外である。また新聞部としては、はっきりしたところがありませんので一応下の表を四年度自治会クラブ予算の決定額としておきます。予算額の変動については、次号にのせますので御参考下さい。

入学オメデトウ！

若さでハッスル

ある、感心したものでないか。昨
年、なかなか決定されなかつた特
別クラブのプラスチックは、昨年
とほとんど変わらず、二万五千円
に落つてゐる。

その他のクラブは、大体昨年より
減少きみである。昨年度より増
加するものは、バスケットボール
部、野球部、陸上競技部、女子バレー、
男子バレー、陸上の各クラブ
特に野球部は、昨年と變りなく十
万円代を保持している。

いつも大目にもめる自治会ク
ラブも算もつてに決定され、あと
少し減らすことに決めたらしい。

一生のみなさん、入学おめで
と。今年の公立高校入試は、三
月十七日に行なわれました。三月
十六日の夜半より、近畿地方一帯
に、時ならぬ大雪が降り、翌日の
入試が、おぼろけに遅れて、十二
時半より行なわれました。この大
雪で、入試会場へ向かう途中の大
変つたのを知らなくて、相当大勢
の人が、受験場に来ていました。
受験生にとつては、気持ちが落ち
つかない様子の人々も多く見られ
ました。しかし、我校への入学志
願書が、いつもの年より、だいぶ
少なかつたせいか、例年の入試の

かっているものから大體には、国会の審議、承認を待つものも雪か、列車ダイヤや、相等に狂わような、激しい緊張感、受験生かっているものから大體には、国会の審議、承認を待つものも雪か、列車ダイヤや、相等に狂わような、激しい緊張感、受験生

氣力欠く阿倍高生

ベストをつくせ

我校と住高との親善総合体育大会が、今年も開かれることになった。我校と住高とのこの総合体育大会は、昭和二十三年よりずっと続けられて来た。しかし本年は、両校の先生の間に、あましもおそろくもない、授業時間がつぶされる等、やめてしまおうという空気が流れてゐた。しかし両校の学生にまだまだやる気があるので、授業時間にさしきわりのない土曜日を、選んで今年も開かれることになった。

親善試合だから、負けたつてかまわないと安易に考えていると、我校のように、連敗又連敗である我阿倍高生は、どんなこともとことんでやつこんでやつていないのではないだろうか。自分の力を、最高に発揮するためには、最高の練習をする。それでも自分の実力の七十％も出せれば、良い方である。時間がたりないと言う人が、よくいるが、時間は自分が作り出すものである。短時間に猛烈に練習すれば、効果が上がるであらう。何そスポーツだけのことでない。今年の我校の大学入學事情は、ひじょうに悪い。我校の学生が、一年生の最初の時のような、気持をもつて勉強すればもつと多いの人が、自分の希望する（公立）の大学に入れるはずである。入學時の士氣持ちを、忘れるはならぬ方。『オレハ、一流大学ナンカイケヘン。シタガツテ、勉強センデモエ工。宿題ハトラのマル写シ。』ソレモ朝学校ニ来テ写スノヤ。なんていう生徒が、いたら我校に来

る資格な。阿倍高は、そんな学生の集まりではないはずだ。個人個人が、一人でハッスルしても効果はうすい。某校のような受験専門にいた学校にも疑問を感じるが有能な生徒が回りのムードで勉強しなくなる。これぐらい勉強したらまあいいだろうといった安易な考えは、絶対に弊物である。個人個人で、いくら意気こんでもダメ皆んなが、やる気を出さなくては何んにもならないのである。しかし、何も良い大学に入ることを目的とした勉強をするのではない。本当の実力を上げる勉強をするのである。我校生の勉強時間が少したりなさすぎん。某校生等ま

二日六時間以上勉強していること。これだけでも我校とその高校の差が出くるところは当然である。気をかりはって何事もとことんまよやう。僕達がやらなければならないがやる。さあ今からでも遅ない。皆んなで勉強するムードを作っていい。結果は、どうでも、ベストをつくせばそれでよいのではないだろうか

いかなる高い山の頂上も人間に達すること出来ないものはないしかし決意、自信、勤勉をもつてこれを登らなければならない。

—アンデルセン—

前田君を悼む

二年八組の前田洋君さん入学

煙香し、続いて阿倍高生、近所の目新聞には、水をかけて放置しておいたよに書かれているが、そんな事実は、ないということでもあつた。なぜこんな風になかれたのだらうか、それはだれにもわからない。

て以来、まだ二百目のさる二千日、柔道郎の練習中頭を打ち、意識不明となり、大阪赤十字病院に

前田君の事故
死について

阿倍高は、このころ目の丸閃
題で世間をさわがしたりしている

なせ前田君は、死んだのだらう
とならう。

入院していたが、三日後の二十三
日午後四時五十分ごろ、手術のか
つて、医者は、手術後之れを心
当然とはいへ、色めがねで見られ
るの、当然だ。

前田君の告別式は、翌二十四日午後四時から、前田君の家で行なわれました。忌辞の後、校長先生

教師先生、前田君の担任の広瀬先生をはじめ柔道部の代表、前田君は中野の代表として、事件後の処置もつたかという、また、死んだ前田君もそうのぞん

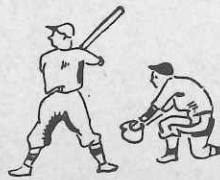
新入部員募集

入部希望者は

南舎二階新聞部室まで

針灸

風が吹く五月。段々と春らしく

紀子 稲垣佳世子【以上英文】 大阪経大 鈴木健男 富内敬子【被服】宮尾美也子【 帝塚山学園女 行友妙子 風 別科】 野勝子 尾崎けい【以上教養】 帝國女子短大 坂崎明子【英 海星女子学院 尾崎けい【文 文】		上智大学 赤松信茂【法】 同志社大 岩佐好博【商】 日本大学 石井洋【法】 大阪経大 沢田賢二【第二経 独協大学 梁月豊明【外国語】 営】 明治大学 吉田一志【英文】 駒沢大学 西田隆志 立命館大学 岡本泰孝【経営 竜谷大学 熊城清 武庫川女子大 山口英子【薬 広島工大 中塚克 早稲田大 上田巧【商】 近畿大学 大塚正和【商経】		中井孝昌 日本大学 安田貞世 7 松崎 8 松田 9 森本 杉野 青木 稲谷 西の内 守田 今井 加藤俊		第二学年 主任 高田 1 佐藤 2 梶川 3 川村 4 高田 5 平塚 6 西垣 7 浜 8 塚本 9 石川 中原 志賀 富田 村上 黒川 上司 加藤紀		第三学年 主任 森田 1 安永 2 和食 3 福田 4 沖本 5 森田 6 弥園 7 伊藤晃 8 金沢 9 松隅 陶山 行徳 政本 多久和 佐々木 沢池		特別クラブ 放送 石川 塚本 伊藤進 新聞 梶川 松隅 佐藤 村上 図書 和食 行徳 佐々木 松田 政本 福田 村上 坂口 柴田		プラスバンド 多久和 浜 家庭 小林 佐々木 加藤和 文化クラブ		外にこれが好評らしいのである。 こころへんに『聖火』の一つの歩 むべき方向があるのではないかと まだまだ書きたいことは山ほどあ るが最後に六年前の先輩が考えた 『聖火』の未来の理想像を載せて おこう。はたして現在の『聖火』 がこれに近づいているか？ 「自治会機関誌というからには まづ何よりも自治会の動きを捕え て、生徒全体にその反省と発展へ の力をかりを与えることが必要だ ろう。こうして、日頃馴染みの少 いといわれる、自治会と生徒とを		ESS 福田 加藤俊 演劇 川村 西の内 映研 森田 坂口 音楽 多久和 小林 美術 富田 中原 村上 華道 和食 杉野 沖本 加藤和 ICC 広瀬 志賀 茶道 石川 行徳 弥園 石井 写真 石川 西垣 社研 平塚 久岡 書道 佐野 沢池 生物 沢田 松崎 守田 宮野 煎茶 松隅 金沢 柴田 地研 大林 稲谷 能楽 小林 点字 福井 宮野 弁論 陶山 文学 佐藤 伊藤晃 歴史 沢池 梶川 洋舞 安永 ハーモニカ 高田 松田 軽音楽 川村 伊藤進 珠算 塚本 佐々木		宗研 大石 運動クラブ 剣道 松隅 佐野 硬庭 松崎 志賀 沢田 軟庭 行徳 和食 沖本 守田 サッカー 沢池 梶川 佐藤 山岳 陶山 浜 柔道 弥園 多久和 水泳 広瀬 今井 ソフトボール 久岡 伊藤晃 体操 安永 森本 卓球 森田 塚本 石井 男排 中原 西垣 加藤俊 女排 小林 杉野 西の内 坂口 男籠 上岡 福田 女籠 上岡 佐々木 村上 野球 大林 高田 大石 福井 伊藤進 陸上 今井 松田 加藤紀 ラグビー 森本 富田 平塚 ワンダーフォーゲル 川村 稲谷 柴田 ハンドボール 加藤紀 金沢			
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--

日の丸問題研究調査委員会

